

ボールクッションのご紹介（参考資料①）

・正しい座位姿勢を保持するためのインパルス（細胞間を行き来する電気信号）を提供します

ボールクッションは体が喜ぶ座位姿勢の保持と身体のバランストレーニングをサポートします。本製品は感覚統合の理論に基づき考案されました。ボールクッションに座ると、ボールの柔軟性によって身体が重心に反して動きます。身体は自動的にこの変化を感じ取り、バランスをとるために身体の重心をシフトさせます。そのため、姿勢を保つための筋肉（主に背中とお腹の筋肉）が刺激され、『まっすぐ座って！』というインパルスが体内に放出され、集中力が高まるという結果につながります。

・体が喜ぶ座位姿勢は学習効果を高めます

ボールクッションに座ることによって子供達にとって多くのプラス効果があります。特にイライラしやすい子や集中力に問題や学習障害のある子にお使いいただけます。またボールクッションのボールの動きが、背中をリラックスさせる効果があるため、学校教室のような環境で勉強をする子供達におススメしています。

ボールクッションは大人から子供まで身体のバランストレーニングや感覚運動のトレーニングのためにお使いいただけます。例：足の下に敷いて追加で刺激を誘発させるなど。

・製品理論

ボールクッションは A.Jean Ayres（アメリカ人作業療法士・発達心理学者）の感覚統合理論に基づいてデザインされました。ボールクッションは感覚刺激を以下の感覚機能に与えます：

① 固有受容感覚機能（筋肉・関節からの感覚）

クッション内のボールによって生み出される圧力が、『自身の体は今どのポジションにあるか』というシグナルを絶えず体に送ることによって、ユーザーの身体意識を高めます。

② 前庭感覚機能（重力を感知する身体バランス感覚）

子供がボールクッションに座ると体が重力に反して動きます。体はこの動きを感じとり、この感覚はユーザーが身体のバランスをとるために体重を無意識に移動させます。

ボールクッションは、1)学校のイス用、2)トリップ トラップ チェア用、3)幼児向けの小さなイス用の3種類です(写真①)

ボールクッションは以下の症状に対して有効です：

ADHD

バランス障害

脳性まひ

集中力に関する障害

多動性

学習障害

感覚障害

痙性

自閉症



写真①

